

サポートをする人(支援者)の声

ガイドヘルパー

障害のある小学生が活動(タグラグビー)を行う場所への送迎や、活動中の支援をしています。

話をしながら家の中の片づけと一緒にし、いつも最後に『ありがとう』と言ってくれる。

高齢者生活支援サポーター

利用者の心が豊かになるお手伝いをしているだけでなく、自分の心も豊かになっていると実感。

ファミリーサポーター

ママやお子さん達の頑張る姿や笑顔にこちらが励まされています。

繰り返し支援することで利用者への理解が深まり、その日ごとの体調等に応じた支援ができるようになっていくことにやりがいを感じます。

学童保育のスタッフをしながら保育士を目指していますが、障害のある子どもを支援する経験が仕事の役に立つと勧められ始めました。

発達支援サポーター

学校の子どもたち一人一人の個性に寄り添い、笑顔や自信に繋がるサポートをしています。

サポートを受ける人(利用者)の声

ファミリーサポーター

親族が近くに居ない我が家ですが、ファミサポさんのおかげで育児の協力者が増えました。

年の近い姉妹。長女との2人時間をつくるために、ファミサポさんに次女を見てもらい、遊んでもらっています。

パパが帰るまでワンオペの我が家。私が夕飯を作っている間に、娘が遊んでもらっています。

発達支援サポーター

調理実習では、生徒が安全な環境で楽しく取り組むことができ、とても助かっています!

高齢者生活支援サポーター

腰の圧迫骨折をして不自由になった為、家の掃除と庭の草むしりをしてくれて感謝している。

転倒してから外出することに不安を感じていたが、一緒だと買い物へ出かけられるようになった。

昔はすぐできたことが、今は一日がかり。『ゆっくりやりましょ』の一言が嬉しい。

講座の受講者の声

ファミリーサポーター

地域に繋がる活動をと、ファミサポで支援員をしています。違う世代の知り合いが増えました。

ガイドヘルパー

普通に過ごしていたら知らなかったであろう福祉の制度について学ぶことができました。

講座を受けて得た知識を他の現場で活かしたり、他の人に伝えることができました。

高齢者生活支援サポーター

参加者の方たちとも、話ができ楽しい2日間だった。実践的なことが多く、経験した話を頭ではなく心で受け取りました。活動を通して、地域とのつながりができたら嬉しいことだと感じている。

発達支援サポーター

子どもだけでなく、自分や他者に対する見方も変わり、気持ちが楽になりました!

ゲートキーパー

コロナ禍でより身近になった“自殺”。社会全体で向き合うべきだと思います。

自殺は地域でつながることが防止策。まずは挨拶から始めたい。

認知症サポーター

まわりの人のサポートで、認知症の人が安心して暮らすことを知った。

認知症はとおい未来のことと思っていたけど、身近なことなんだと思った。

かまくら 市民共生サポーター

かまサポ!

サポートを必要とする人とサポートできる人が出会い互いに支え合うためのサポーター事業「かまサポ!」。

必要なサポートへの「理解」を深め、『つながり』を広げていくことがわたしたちがこの鎌倉でより安心して自分らしく暮らしていくときの心強い地域の支えとなっていきます。



サポーター制度をご利用したい方も、サポーター制度でチカラを発揮したい方も、ぜひ、お気軽にご連絡ください!

鎌倉市のホームページはこちら



「かまサポ!」に関するお問い合わせは
福祉総務課 0467-23-3000(内線2496)

サポーター制度名称	養成講座の内容	サポートの内容	お問合せ先
<p>鎌倉市 ファミリーサポートセンター (支援会員・依頼会員)</p>	<p>ファミリーサポートセンターは、子育ての手助けをしてほしい人(依頼会員)、そのお手伝いをしたい人(支援会員)が互いに助け合う(有償ボランティア)会員組織です。講習会では、子どもの発達や現代の子育て事情、子どもの遊びなどについて学びます。 支援会員になるには、「ファミサポ支援会員登録講習会」の受講が必要です。</p>	<p>鎌倉市内に在住で小学6年生までの子どもがいる方(障害のあるお子さんは18歳以下)、鎌倉市内に在勤でかつ子どもが鎌倉市内に在園在学している方等に対し、保育施設までの送迎やその前後の預かり、通院、冠婚葬祭、リフレッシュなど、一時的な預かり、出産前後、体調不良な方への一般的な家事等を行います。</p>	<p>鎌倉市ファミリーサポートセンター 鎌倉市玉縄一丁目2番地1 玉縄青少年会館1階 電話：0467-43-5401</p>
<p>かまくらっ子 発達支援サポーター (会計年度任用職員)</p>	<p>発達障害の理解と、具体的な接し方を学ぶ講座(講師 星山麻木氏)です。かまくらっ子発達支援サポーター養成講座(基礎講座とフォローアップ講座)の修了者で、会計年度任用職員(かまくらっ子発達支援サポーター)として活動を希望されるサポーターは、広報かまくら及び鎌倉市ホームページの採用情報をご確認下さい。</p>	<p>鎌倉市立小学校、中学校、及び市内の私立幼稚園、私立保育園等に在籍する特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対し、生活面及び安全面の介助を行います。</p>	<p>発達支援室 鎌倉市御成町20番21号 福祉センター1階 電話：0467-23-5130 メール：h-shien@city.kamakura.kanagawa.jp</p>
<p>高齢者 生活支援サポーター</p>	<p>高齢者生活支援サポーターは、加齢により生活に不自由を感じ始めた高齢者(利用者)が元気に日常生活を送ってもらえるよう、研修を受けた市民(サポーター)が有償ボランティアとしてお手伝いをするものです。高齢者生活支援サポーター養成講座では、高齢者の特性や高齢者にかかわる制度など在宅高齢者の生活を支援することに必要な基礎知識を学びます。また、研修終了後もサポーターのスキルアップを目的にフォローアップ講座を定期的実施しています。高齢者生活支援サポーターになるには、「高齢者生活支援サポーター養成講座」の受講が必要です。</p>	<p>趣味や生きがいのための支援(草取り、囲碁や将棋、話し相手、芸術鑑賞など)、外出支援(買い物、通院、墓参り、散歩など)、家事支援(サポーターと一緒にできるもの)</p>	<p>高齢者生活支援サポートセンター 電話/FAX：0467-48-1130 メール：jimu@kamashien.com ホームページ： https://kamashien.com/support-center/</p>
<p>ガイドヘルパー</p>	<p>知的障害のある方に対する理解を深め、外出に伴う支援者として、必要な知識や援助方法を講義と実習を通じて学びます。養成研修を修了すると、知的障害者ガイドヘルパー養成研修修了資格を取得できます。ガイドヘルパーになるには、「ガイドヘルパー養成研修」の受講が必要です。</p>	<p>障害者の社会参加のための外出に付き添い、乗り物、トイレ、買い物などの目的地までの移動を支援します。</p>	<p>鎌倉・逗子ガイドヘルプネットワーク 電話：0467-55-8882</p>
<p>認知症サポーター</p>	<p>認知症の人が安心して過ごせる地域づくりのために、認知症の症状・接し方・相談先などについて学びます。</p>	<p>講座を通じて認知症について「知る」ことができます。認知症の方への接し方が分かります。</p>	<p>市民健康課(介護保険課兼務担当) 電話：0467-61-3976 メール：h-kourei@city.kamakura.kanagawa.jp</p>
<p>ゲートキーパー</p>	<p>「誰も自殺に追い込まれることのない地域」を目指し、悩んでいる人のサインや声のかけ方、相談先などについて学びます。</p>	<p>講座を通じて自殺現状や対応について「知る」ことができます。ゲートキーパーの役割が分かります。</p>	<p>市民健康課 電話：0467-61-3946 メール：h-seijin@city.kamakura.kanagawa.jp</p>